



暖心苑

経営理念

- 一. 暖かい心と笑顔で、利用者の立場に立った満足度の高いサービスを提供します。
- 一. 利用者の皆様が、生きがいのある安全で安心した生活が送れるよう自立を支援します。
- 一. 地域との連携により、熟年者等の福祉・健康づくりを推進します。
- 一. 専門的な知識と技術と至誠のある職員を育成します。

ひだまり

平成29年6月30日 発行 第60号

〒134-8625 東京都江戸川区北葛西4-3-16 暖心苑

デイサービス
ご利用者作品テーマは「あじさい」



平成二十八年年度事業報告の総括

法人関係では平成二十九年四月一日施行の改正社会福祉法への対応を行った。新評議員選任方法の変更、定款の大幅な変更、評議員選任・解任委員会の開催、定款細則の改正を行い、よりガバナンスの高い組織運営に向けて取り組んだ。

特養部門は、介護職員処遇改善加算Ⅰを取得し、介護報酬の増額を見込んだが、入院等で空床が多く発生し、収入は前年並みとなった。

利用者サービスについては、当り前の生活の実現」に取り組み、個別的な利用者サービスの向上を図った。また、看取りに関する指針」に基づき十三名の方の看取り介護を行った。

介護職員の採用について、合同就職説明会、学校訪問等の求人活動を行ったが、十分な人材確保は出来ていない。

人材育成については、各フロアリーダーを中心に個別面談および評価を行い個々の到達目標の明確化に取り組んだ。苑内の委員会の活動報告会や勉強会、内外の各種研修に積極的に参加し専門知識・技術の向上を図った。

災害対策として、各種訓練のほか、要介護者の避難所として協定を結んでいる江戸川区や他県の特養施設との合同訓練を行った。さらに風水害マニュアルの策定を行った。

在宅サービス部門については、介護職員処遇改善加算Ⅰ取得と利用率増により、収入は前年度に比べ増収となった。

地域包括支援センター事業については、認知症地域支援推進員を中心に地域の認知症の方や家族への支援に向け、暖心苑オレシカフェ」を定期的に開催した。

居宅介護支援事業については、地域包括支援センターと連携を図り積極的に困難ケースや医療依存度の高いケース等の新規利用者を受け入れ、前年度に比べケアプラン作成数が増加した。

平成二十八年年度事業報告

東京清音会の平成二十八年年度決算及び事業報告は五月開催の理事会において承認され、六月開催の評議員会において決算が承認され事業報告が報告されました。

【事業の概要】

施設経営にあたっての「法人のビジョン」及び「経営理念」に沿った基本方針・事業計画に基づき次の事業サービス活動を行った。

一 事業経営の実績

○特養部門は入所者の重度化やインフルエンザ感染の影響で入院者が多く、目標値を達成できなかった。ショートステイ部門についても利用者の体調不良、入院により目標利用率を達成できなかった。

○デイサービス部門 一般・認知症通所介護については、体調不良等により長期入院・療養で休む方が多かったが、「一般通所は目標利用率に達し、認知介護は、利用目標に達しなかったが、収入は、それぞれ前年を上回った。

○地域包括支援センターについては、地域で暮らす熟年者からの保健・医療・福祉・認知症などの様々な相談に対応した。

○熟年ふれあいセンターは利用回数が減少した。熟年いきいきトレーニングは増加した。

○居宅介護支援事業については、医療依存度の高いケースや困難ケースを積極的に受け入れケアプラン数は増加した。

二 利用者サービスの質の確保と向上

（一）安全対策

ア 事故予防対策

事故予防対策として、事故発生の防止及び、発生時の対応指針に基づき、リスクマネジメント委員会が核となり関係職種の職員が連携して、職員への周知徹底・教育を図った。事故発生時には他職種も交えたフロアミーティングや委員会において、原因究明および対応策を検討し再発防止に努めた。

再防止の取組みとして八月に薬に移乗や食事介助についての研修を実施し、改めて介護を振り返るきっかけとなった。

また、講義、体験を交えた苑内検討会を実施し全職員がリスクに対する認識を再確認した。

アクシデント件数一覧

	合計
転倒	53 (47)
転落	62 (67)
外傷	232 (193)
誤嚥	4 (7)
誤投薬	10 (6)
他	82 (51)
合計	443 (371)

※「誤投薬」については、排便があったものの下剤を投与してしまったもので、記録忘れや伝達ミスにより発生している。

保険者への報告

5件(転倒4件、誤嚥1件)

イ 感染症管理対策の実施

「施設内の集団生活の場での感染症の予防及び、まん延の防止のための指針」およびマニュアルに基づき、感染症対策委員会が核となり関係職種の職員が連携して感染症の予防に努めた。冬期にインフルエンザが蔓延し利用者二十七名、職員十九名発症し対応した。早期の診断と治療により重症化や合併症もなかったが、対策期間は通算三十八日間に及んだ。

ウ 身体拘束廃止への取組み

「身体拘束廃止の基本方針」に基づき、緊急やむを得ない場合を除いて身体拘束をしないための取り組みを身体拘束廃止委員会が核となり関係職種の職員が連携し廃止に取り組んだ。

エ 災害対策

消防防災計画に基づき毎月、各種の訓練開催した。今年度は新たに、大規模な風水害を想定し、風水害対策マニュアルを作成し各種災害対策の構築に努めた。また初めての試みとして、二次避難所施設として協定を結んでいる江戸川区と合同訓練を実施し、二次避難者受け入れに対応する情報伝達訓練及び、震災時初動対応訓練を行った。

昨年に引き続き、防災協定締結施設である、埼玉県さいたま市の社会福祉法人むつみ会「春陽苑」と合同訓練を開催し、相互連携を強化した。

（二）利用者への医療対策

ア 医療・看護体制

非常勤医師による健康管理体制を週四回行った。協力医療機関と連携しての入院治療及び配置医師の専門外の診療科目の受診・往診等の医療により利用者の疾病予防及び治療に努めた。また、看護職員の夜勤体制のほか、必要に応じて協力病院・近隣病院に受診・治療を行った。

イ 看取り介護の実施

「看取り介護に関する指針」に基づき、最期の時まで穏やかに過ごして頂けるよう、利用者本人の意思及び家族の意向を最大限に尊重して看取り介護を実施した。

ウ 褥瘡予防への対応

「褥瘡対策指針」に基づいて、看護・介護職を中心に早期の褥瘡・皮むけ発見・予防及び治療に努めた。

三 事業運営の透明性の確保

（一）財務諸表等の公表

情報開示に取り組み、施設内掲示やホームページ、広報紙等に事業報告や決算報告書、現況報告書を公表するなど、経営の透明化に努めた。

（二）第三者評価の実施

（第三者評価機関による「特養利用者調査」を平成二十八年七月〜十月に実施した。調査結果をうけて関係各委員会において改善への取組みを行った。

（三）介護サービス情報の公表

平成二十八年八月に基本調査書を提出し、平成二十八年九月に基本的な施設情報および調査情報を「どうきょう福祉ナビゲーション」に公開した。

四 地域との連携強化

① 地域支援ネットワーク事業の推進

地域行政機関・団体及び地域住民等の様々な社会資源と協働しながら、地域の実情に応じた総合的な介護予防・支え合いを実践するため、地域包括支援センターを核とした地域支援ネットワーク事業を実施した。

介護予防教室 二十一回・民生委員との懇談会 二回・介護者交流会 二十四回・サービスマネジメント事業情報交換会 六回・地域交流委員会五回

② 地域への貢献活動

地域の熟年者福祉団体 おしゃべりクラブに施設・設備を開放し、昼食や有益情報の提供、コピー機、カラオケ等の貸し出しを行いその活動を支援した。 月一回

③ ボランティア・見学者・実習生等の受入れ

ボランティア活動についてのアンケートの実施や個別に要望等を聞き、特養と共にデイサービスにも活動の場を広げた。延べ活動人数三七三二人（三十八人減）

ボランティアへの感謝と交流を兼ねた「感謝の集い」を実施した。

養成校実習生等受入れについては、学生減少により受入れ人数が三十人減少した。延べ実習人数 一四二人。

小学校・園児等の訪問については、感染症の多い冬期を除き予定通り実施できた。又、園児との交流を深める為に共同作品を作り、作品展示会で披露した。延べ訪問受入れ人数七五六人（五十五人減）

五 苦情への対応

個別相談、特養事業である利用者・家族懇談会及びアンケート調査、第三者委員の巡回によ

り相談、苦情等の把握に努めた。苦情申出については、特養及びショートステイ、デイサービスについて申出はなかった。相談については内容を関係職員等に周知し改善に取り組んだ。第三者委員の活動については、懇談会、各階の家族交流会への参加により利用者、家族への周知に努めた。

六 人材育成・専門性の向上

職場内の人材育成と職員の介護技術・専門知識の向上を図る為次の通り研修を実施した。

研修種別	回数参加 延人数	研修内容
施設内 研修	31回 延べ 213人	<ul style="list-style-type: none"> ・新任職員研修 ・ケアプラン ・身体拘束廃止 ・リスクマネジメント ・感染症対策 ・褥瘡対策 ・腰痛予防 ・高齢者虐待 ・権利擁護 等
外部 研修	94回 延べ 102人	<ul style="list-style-type: none"> ・階層別職員研修 ・ケアマネジメント研修 ・労務管理・口腔ケア ・チームマネジメント ・腰痛予防対策 ・認知症介護 ・介護リーダー養成 ・事故予防 ・看取りケア ・感染症対策 等

七 施設管理

利用者に安全で安心した生活環境が提供できるよう、定期的に委託業者及び職員による保守・点検を実施した。

設備工事はボイラー整備、厨房シンク排水管、ホール系空調機、火災報知器の更新をしました。 工期平成二十九年 一月～三月

熱中症予防をしよう



熱中症は毎年、まだ暑さに慣れていない時に多く発生し、その日の体調が大きく影響します。睡眠不足、体調不良、前日の飲酒、朝食ぬき等で疲れが溜まっていたり、脱水状態や栄養・水分・塩分不足になっていたりとすると発症するリスクが高まります。急に暑くなった日や、暑いところで活動する日には要注意。がぶ飲みしても身体が一度に吸収できる水分量には限界があり、そのまま尿になってしまいます。常に体から水分が奪われる夏は特に「のどが渴いた」と感じる前に、こまめな水分補給を心がけましょう。

夏野菜を食べて熱中症対策をすることも効果的です。きゅうりやスイカは水分が90%以上で、むくみ解消や体を内側から冷してくれる効果もあります。スイカは塩をふって食べるとスポーツドリンクと同じ効果があるとも言われます。ナスも水分が90%以上です。疲労回復効果のあるビタミンB1を多く含む豚肉と一緒に調理を。その他、トマトやゴーヤ、かぼちゃ、ピーマン、おくらなど、値段もお手頃な夏野菜をうまく活用しましょう。自然とその時期に不足するものが補えるのが旬の野菜です。栄養価も旬の時期が一番高まり、季節の諸症状に対応する成分が多く、しっかり体が必要とするように出来ています。

保健課長 広谷 健一

平成28年度 決算報告

(単位:円)

貸借対照表(総括)			
勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	230,107,431	流動負債	116,798,700
現金預金	125,063,865	事業未払金	25,288,107
事業未収金	104,502,518	未払費用	6,967,536
立替金	358,027	預り金	4,150
仮払金	183,021	職員預り金	2,543,907
		賞与引当金	81,995,000
固定資産	1,954,887,021	固定負債	57,729,626
土地	643,831,622	リース債務	1,668,000
建物(基本財産)	348,319,242	退職給付引当金	56,061,626
		負債の部合計(A)	174,528,326
建物	135,979,229		
構築物	5,800,828	第一号基本金	990,902,019
車両運搬具	2,445,977	国庫補助金等特別積立金	302,181,698
器具及び備品	33,583,532	その他の積立金	726,736,965
有形リース資産	1,668,000		
権利	460,000		
退職給付引当資産	56,061,626		
施設建替資金積立資産	358,000,000		
修繕積立資産	175,077,965		
施設整備積立資産	66,800,000		
備品等購入積立資産	40,035,000	次期繰越活動増減差額	-9,354,556
人件費積立資産	46,000,000	(うち当期繰越活動増減差額)	-8,454,102
振興費積立預金	40,824,000		
		純資産の部合計(B)	2,010,466,126
資産の部合計	2,184,994,452	負債・純資産の部合計(A)+(B)	2,184,994,452

事業活動計算書(総括)			
勘定科目	金額	勘定科目	金額
施設介護料収益	416,776,572	サービス活動増減の部	
居宅介護料収益	83,746,114	受取利息配当金収益	142,989
地域密着型介護料収益	22,967,153	その他のサービス活動外収益	4,990,764
居宅介護支援介護料収益	31,917,698	サービス活動外収益計④	5,133,753
介護予防日常生活支援収益	6,958,218	支払利息	66,720
利用者等利用料収益	117,911,932	その他のサービス活動外費用	4,267,970
その他の事業収益	90,130,473	サービス活動外費用計⑤	4,334,690
経常経費寄附金収益	1,902,930	サービス活動外増減差額⑥=④-⑤	799,063
サービス活動収益計①	772,311,090	経常増減差額⑦=③+⑥	-7,999,799
人件費	570,333,295	特別増減の部	
事業費	109,657,035	施設整備等補助金収益	0
事務費	76,120,300	特別収益計⑧	0
利用者負担軽減額	273,734	固定資産処分損	512,405
減価償却費	45,855,290	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却)	-58,102
国庫補助金等特別積立金取崩額	-21,129,702	特別費用計⑨	454,303
		特別増減差額⑩=⑧-⑨	-454,303
		当期活動増減差額⑪=⑦+⑩	-8,454,102
		前期繰越活動収支差額⑫	-14,562,454
		当期末繰越活動増減差額⑬	-23,016,556
サービス活動費用計②	781,109,952	その他の積立金取崩額⑮	13,662,000
サービス活動増減差額③=①-②	-8,798,862	その他の積立金積立額⑯	0
		次期繰越活動収支差額⑰=⑬+⑮-⑯	-9,354,556

熟年ふれあいセンター

今年一年で残念ながら、事業が終了することになりご利用者と楽しい思い出作りが出来るよう、職員みんなで企画しています。今年4月に北区にある飛鳥山公園へ食事会をあわせて楽しんできました。桜が満開でした。



火曜コース



水曜日コース



金曜日コース

白百合保育園様より「お花の日」にフラワーグッズを頂きました。



熟年いきいきトレーニング

暖心苑では、要介護になるリスクの高い65歳以上の方を対象に「今まで以上にいきいきと自立した生活の維持向上」を目標にご自宅でも行える運動プログラムを提供し行っています。

その一つとして、「膝痛軽減筋力トレーニング方法」を紹介致します。

- ① イスに座り、膝が真っ直ぐに伸びた状態のまま（足先を自分の方へ起こしながら）太ももに力を入れ膝を伸ばします。
- ② そのまま5秒間維持します。
- ③ →左右交互 各10~20回繰り返します。（朝晩 2回行います）

☆ポイント☆

1) 伸ばした膝のお皿に手を添えて行ってみましょう。力をこめた時に、「お皿がももの方へ動く」、「お皿が上の部分の筋肉が盛り上がる」ことが確認できれば正しい動きです。

2) 「できるだけゆっくり」数える！



特 養

ファミリーレストランへ食事に出かけ、スーパーで買物を楽しみました。普段とは違った雰囲気や食事メニューに喜んでいらっしゃいました。レクリエーション班では外出行事を企画しご利用者に喜んで頂けるようにこれからも沢山企画していきます。



ショートステイ

ショートステイでは、認知症フロアのご利用を含めて、8床のベッドをご用意しております。

2人部屋が一部屋ありますが、その他は全て個室となっております。

出来るだけ、ご自宅と同じ環境を提供出来る様に配慮しています。

食事や入浴以外の時間は、全て自由時間となっており、個々の生活スタイルを変える事なく、過ごして頂いています。

土日以外の日には、リハビリ室にてリハビリも可能です。

日曜日には、屋上庭園にて、季節の花と空気を見て感じて頂いたり、庭で寝転がったり、水鉄砲やしゃぼん玉を行い、ご利用者は、「小学生に戻った気分で、楽しい。」と喜ばれています。

また ゆっくりとお部屋で、TVやDVDを観て過ごされたり、食堂で談笑したり過ごし方は『自由』です。

ご利用者が笑顔で毎日をご過ごしていただけるよう心がけています。



くつろぎの間（認知症対応型デイサービス）

くつろぎの間では、皆様の興味、関心ごとが薄れないように、たくさんの活動内容をご用意しています。この時期は天候がとても良く、先日は近くのバラ公園に出かけてきました。今の季節を楽しんでいただき、気持ちもリフレッシュできました。



ふれあいホール（一般デイサービス）

ふれあいホールでは、様々なイベントの企画をさせていただき、先日はボランティアの“MMグループ様”による、南京玉すだれを披露していただきました。
また、活動等では、兜作りやオセロゲームなどをして楽しめました。



ふれあい庭園では、季節を感じられる草花が咲き、今年も桜、ツツジ、シランの花が咲き、室内もご利用者の共同作品の“藤の花”を飾りました



ふれあいホールでは、本年、99歳になられました、竹島もと様の“白寿”のお祝いをさせていただきました。これからもお身体に気をつけて元気にデイサービスにいらして下さい。

合同防災訓練



3/1（水）防災協定を締結している大宮市にある特養春陽苑に介護職員、看護師、事務員の4名で出向し、相互応援訓練を行いました。訓練内容①応援職員受付訓練 ②救援物資搬入訓練 ③搬送器具の取扱訓練④要介護者搬送訓練⑤上膳訓練⑥非常食試食訓練後は相互に課題を検討し、次回の訓練につなげていきたいと思ひます。

オレンジカフェ暖心苑船堀がオープンしました。

オレンジカフェ暖心苑船堀は、認知症の方およびご家族が気軽に立ち寄りゆっくりとひと時を過ごすところです。

第一回目は、5月23日（火）14時から15時の1時間の開催でした。当日は、7名の参加で認知症の方とご家族が、ご来客してくださいました。

場所は、現在使われていないお店をお借りして開催しております。ボランティアの方も駆けつけてくださり職員と合わせてカフェの中はいっぱいになりました。

ゆったりとした雰囲気の中、コーヒーを飲んだりお菓子を食べたりしながら楽しくお話が盛り上がり、あっという間のお時間でした。ご参加された方からは、「また参加したい」「もう少し時間を長くしてもいいよ」などというお声をいただいております。今後も継続的に開催していく予定ですのでお気軽にお越しください。

次回は7月1日に開催します。

開催日：2ヶ月に1回、奇数月の1日
（日祝の場合はその次の日）に開催予定です

参加費：無料

場所：江戸川区船堀3-4-11
COFFEE館（やかた）

対象：認知症の方及びご家族

お問い合わせ：暖心苑船堀



熟年相談室暖心苑 介護者交流会

テーマ「自分に合った福祉用具の選び方」と題して、5月25日（木）暖心苑内にて行いました。今回はパナソニックエイジフリー葛西店のご協力により最新の福祉用具を紹介していただきました。また、介護保険を利用した住宅改修や福祉用具購入についてわかりやすく説明していただきました。参加した皆様には実際に福祉用具に触れて体験していただき、最新機種が進化した機能（スピードが出すぎない歩行車、立ち上がり時に自動でブレーキが作動する車いす等）に驚きの声を上げる方もいました。

「介護者交流会」は自宅で熟年者を介護している介護者同士の交流の場として毎月1回開催しています。介護の悩みを話しあったり、講師を招いて介護についての情報を提供しています。お気軽にご参加ください。

次回の案内、7月13日（木）「よくわかる成年後見制度」講師：安心生活センター
8月2日（水）「認知症サポート医と、お話ししましょう。」です。



理事・評議員 役員紹介

理事：妹尾 式子、西野 裕、青山 茂、関口浩太郎、土谷 明男、渡部 裕人（新任）

監事：宇田川 濱江、西秋 和男

（任期：平成29年6月14日～平成31年定時評議員会終結時）

評議員：加藤 桂子、小林 田鶴子、上野 宜春、浅見 守弘、六笠 良雄、児玉 成一、妻田 辰雄

新人職員紹介



吉本 和美
相談員 船堀地域包括



近藤 瞳
介護職員 デイサービス



兵頭 弘基
介護職員 特養4階



宇田川 大輔
介護職員 特養3階



鈴木 文朗
介護職員 特養4階



森永 雅人
介護職員 特養2階

pepperくん大活躍！！

江戸川区より寄付して頂いたpepperくんがご利用者を楽しませてくれて大活躍しています。デイサービス、特養ご利用者、ボランティア様、利用者ご家族、皆様pepperくんに話しかけていけます。pepperくんの占い、クイズ、体操と沢山の特技があるので来苑の際は是非pepperくんと楽しんで下さい。



永年勤続表彰（10年勤続）

尾作 裕子（デイサービス 相談員） 北田 桂（特養 介護職員）
小林 久美江（居宅 介護支援専門員） 鈴木 康之（特養 介護職員）

今後も、笑顔と感謝の心を胸に業務に邁進してまいります。

宜しくお願いいたします。

応募↓予め電話連絡の上、履歴書（写貼）郵送又は持参下さい。面接日設定は後日法人より連絡致します。お問い合わせは採用担当 佐藤 まで

平成30年度介護職員を募集しております。ご応募お待ちしております。中途採用は随時募集しております。

職 種	特養介護職員	
	常勤	非常勤
年 齢	不問（夜勤勤務者は18歳以上）	
資 格	N/A - 2級以上・初任者研修修了者	
給 料	月給20万円～（短大卒）	1,010～1,090円
	資格・経験により優遇	
賞 与	年二回平成28年度実績(4.0ヶ月)	なし
夜勤手当	1回7,500円	
時 間	夜勤、早番、変則交代勤務 あり	
交通費支給	上限5万円	上限2万円

広報委員会

一之宮美穂 相談員、高宮正春 機能訓練士、山崎進次 事務員、関口浩太郎 施設長

通 信 欄

様のご家族へ(/)

利用者担当

社会福祉法人 東京清国会
特別養護老人ホーム 暖心苑
暖心苑デイサービスセンター
暖心苑さわやか相談室指定居宅介護支援事業所
熟年相談室 暖心苑（地域包括支援センター）
〒134-8625
東京都江戸川区北葛西4-3-16
TEL 03-3877-0100
FAX 03-3877-0188
TEL 03-3877-0181（さわやか相談室直通）
地域包括暖心苑船堀
東京都江戸川区船堀2-15-17ド威尔船堀102号
TEL 03-5878-1521
<http://www.danshinen.org>